



大阪YWCA

2 2024

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association) は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

およそ半世紀以上にわたって世に日本語教師を輩出してきた大阪YWCA専門学校日本語教師養成講座が今年度をもって幕を下ろすことになりました。私はその歴史の半分ほどに関わらせていただき教鞭を執って参りましたが、この期に及んで皆様に白状いたします。私は未だに言葉の正体について明快にお答えすることができません。ましてやそれを外国語として教えるなどもつての外です（…この場をお借りして陳謝いたします）。

ただ、コロナ禍を経験し、生成AIが台頭しつつあるこの時代に身を置いたからこそ、一つ気づいたことがあります。それは、言葉は限りなく「人を体現したもの」であるということであり、これからの日本語教育は、このことを念頭に置いて大きく変わって行くだろうということです。

人との交流や会食は禁止、授業も画面越しのオンライン

日本語教師養成講座に思いを寄せて

—日本語教育のこれからを創造する—

莊司 育子



で、という未曾有の体験を強いられた私たちですが、正直なところ、ここまで心が疲弊するとは思わなかったのではないのでしょうか。言葉はただか情報伝達ツールに過ぎない。幸いなことに私たちは最新技術によって瞬時にメッセージを伝え、顔を合わすことすらできる。だから人と直接接しなくても何の問題もないはずだと。しかし、どうでしょう、私たちは人恋しさに病んでしまいました。本来、「言葉」に伴われているはずの「人」の要素が、明らかに欠けていることに気づいたのです。

生成AIはものの見事に言葉を繰り出しますが、それは、一人の人間が一生かかっても蓄えることのできない膨大な言語情報を持っているからです。情報伝達ツールとしてはこの上ない優れたものであり、今後の社会生活には欠かせなくなるにちがいありません。さらに言えば、もうこれまでのように外国語の勉強に

も苦勞しなくてよいのです。では、日本語教育は今後、どこに向かつて行けばいいのでしょうか。それは、人と対峙する場に特化していくことではないかと思います。日本語教師と学習者が直に対峙すること、また、学習者同士が直に交流することで生まれる「言葉によるグルーブ感（共に高揚して共鳴するような感覚）」を醸成する場を創造していくこと、これこそが、他でもない未来の日本語教師に託された役割なのではないかと思うのです。

日本語教育の新たなステージに向けて、ともに再出発の道を切り拓いて参りましょう！

しょうじ いくこ

1968年大阪生まれ。大阪大学日本語日本文化教育センター教授。専門分野は日本語学（統語論）。当講座では1995年より講師を務めるほか、授業科目の配置などカリキュラムの改定にも尽力。

<http://osaka.ywca.or.jp>

日本語教師養成講座 54 年間の歴史



1969年に開講して以来、好景気にともなう日本語需要の波にのり、徐々に多くの受講生に恵まれることになりました。『もしあなたが外国人に日本語を教えようと思った時、その教える日本語は「国語としての日本語」ではダメなのです。つまり、たとえば私達が英語を習うのと同じように、「外国語としての日本語」でなければならぬのです。そのためには、充分な、専門的勉強が必要となります。たゞ日本語が話せるから日本語教師ができると考えるのはまちがいであることにお気づきですか？』1982年の講座パンフレットに檄が飛びます。また同紙には、『姫路定住促進センターにおいてインドシナ難民の日本語教育に携

わっている過半数の人は当学院の卒業生で、日中国交の回復による中国からの引揚者の増加のためにも習熟した日本語教師が求められております』とある通り、まさに地域に暮らす非日本語母語話者の人たちのために、寄り添い続けてきました。

ことができないために地域に溶け込めずにいる海外駐在の日本人妻たちを憂えたYWCAの会員が、日本語を教えられる人を養成すれば日本語を教えるながら社会参加できるのではと考えたことをきっかけに誕生した養成講座。こ

とばを通して、すべての人が自分らしさを発揮できる社会をつくるために日本語教育を支えた54年間でした。

(職員 奥 美和子)

設立からご尽力いただいた 大阪大学名誉教授奥西峻介先生からのメッセージ

「大阪YWCA 日本語教師養成講座の最期に」

大阪YWCAの日本語教師養成講座には、二つの動機があったと思う。一つは日本の国際化への寄与である。外国人に日本語を普及させることは、日本人が外国語を習得することの裏返しで、日本の国際交流力を高め、ひいては国際性を増進する。

今一つは、女性の社会的地位の向上である。既存の領域・職種なら、障害もあろうが、未開の分野である日本語教育なら女性が容易に活躍できると思われた。

その発足は、大阪万国博覧会直後で、世間も国際化に向かうと見えた。しかし、現実とは違った。外国人は遠くから眺めるのは問題ないが、身近に接するとなると、迷惑の種と思われがちだった。この状況は大学などでも同じで、日本語教育は好事家の奇行ぐらいに見なされた。

いっぽう、教師養成といっても、専門家は希有で、信頼に足る教授法もなかった。大学にも教員養成の課程や学科はなかった。よって、講座の

内容は、殆どが日本語自体の理解を深めるためのものだった。講師と受講者が一緒になって、教授法を作り上げていったといっても過言ではない。

転機は1979年のインドシナ難民の受け入れであった。難民を定住させるためには日本語を習得させなければならず、多くの教師が必要となった。そして、講座の修了者が何人も協力したのである。

いらい、多数が内外の教育機関で活躍してきた。日本語教育ももはや特殊ではなくなった。教師養成課程も珍しくなくなった。今日では初来日の観光客にも日本語を操る者がいる。女性の地位向上は道半ばだが、教師養成の方は初期の目的が果せたのではあるまいか。

半世紀以上にわたる関係者の尽力に敬意を払うとともに、わずかも関わったことを光榮に思いながら、終焉の知らせを聞くのである。



菊田澄江さん

菊田澄江さんの生涯を著す書物に出会いました。Yに通っていると目にしたり、感じたりする様々なことはまさにこの方の生き方に由来するのではないかとさえ思いました。聖職者の家に生まれ、学校でYWCAの支部を作ったり、第一回日本YWCA全国総会へ学生の身で選ばれたりと深い関り。終戦後、夫を失くし、境遇を同じくする母子家庭のために、訪問着から進駐軍将校夫人のドレスを作るなどの発想でナオミ洋装店を立上げ、紆余曲折を経て女性の自立を目指した職業訓練を兼ねた施設ナオミホーム、ナオミ保育園を作りました。そこでは現在の病児保育の基礎も培われたようです。書ききれませんが、皆で力を合わせて古着や手作りお寿司など、楽しいナオミパザールの様子を読むと、これぞYWCAの原点との思いです。(大空社シリーズ福祉に生きる66菊田澄江)

(会員 鈴木 一代)



千里子ども図書室 50年のあゆみ

最近「万博」と言いますと来年の「大阪・関西万博」をイメージする方が多くなりまして。一九六九年、翌年の大阪万博に向けて開発中の千里ニュータウンに、大阪YWCAは「千里センター」を開設しました。同年子ども図書室もオープンし、二〇一九年に創立五十周年を迎えました。

ボランティアメンバーはこれまで子どもたちの「心を育てる」ことを願い、主に次のような図書室の仕事、プログラムを続けてきました。①本の貸出しなどの基本的な児童サービス②本の選書、購入と受入れ③読み聞かせやおはなしの時間の実施④親子で参加のプログラム(ちゅうりつぷくらぶの実施)⑤子ども向けと大人向けのおはなし会の実施⑥ボランティアの勉強会(本の検討、ストーリーテリング、書評など)⑦児童文学関係の講座の開設(ライブラリースクール「一九七七年より「子どもと子どもの本の講座」一九九九年より)⑧本の出版「いちじく にんじん」「もののえほんいちにち」「うごはなたべよ 2おでかけしようか3おやすみなさい」ブックリスト「たのしい絵本I〜IV」

⑨図書室外での活動(講座の講師やおはなしの時間を担当)⑩「五十周年記念誌」の発行 コロナ禍により中断を余儀なくされてしまい、思いもよらぬ年月を経て二〇二三年十月末にやっと発行の運びとなりました。

二〇二〇年三月から閉めていた子ども図書室は二〇二二年九月に再開しました。思いを新たにまずは蔵書、参考資料の整備に取りかかり、子どもたちにとってもボランティアにとっても「魅力的な図書室」を目指し作業を進めています。私たちも子どものことをよく知り、子どもの本をよく知り、より良いものを手渡せるよう日々努力を重ねています。

図書室の仕事、活動は地味で目立つものはありませんが、各々のメンバーが持てる才能を発揮し、子どもたちに関わっている大人への働きかけも重視して行きたいものです。

オープン当初から暖かいご理解を賜り支えて下さいました大阪YWCAの会員、職員の方々に心より感謝申し上げます。

なお、この紙面では五十年を十分に言い尽くせません。ぜひ大阪YWCAと千里子ども図書室にあります「五十周年記念誌」をご高覧下さい。

(会員 田尻 美知)

わたしのイチオシ! 「THE BIG ISSUE」



ビッグイシューは、ホームレスの方が販売する雑誌で、売上げの51%が販売者の収入となる。特集記事の切り口と内容が独特で、発達障害、LGBTQ、シビックエコノミー、環境問題等、内容の深さと掲載頻度では群を抜く。世の中捨てた物じゃないと元気をもらえるのだ。

(会員 七条 聡美)



大阪YWCA合同会議

昨年11月大阪YWCAの理事・監事・運営委員・職員による合同会議が行われました。今の大阪YWCAの状況を踏まえ、将来への展望を描く糸口を見つけようというのが目的です。①運営委員会改革②留学生交流プログラム③ユース育成④会員ルームの活用、以上四つのテーマについて発題があった後、活発な意見交換がなされました。

かつて私が大阪YWCAの職員だったとき、大阪YWCAがどうあって欲しいかと考えたことがありました。頭に浮かんだのは、会館にいろんな人が鈴なりになって、楽しそうにしている姿でした。老いも若きも、性別も国籍も関係なくいろんな人が、ここに来ると何かいいよねと集まって来る、そんな風景が浮かびました。それで「千客万来」という小さなプレートを作り、こっそりYWCAの入り口に貼り付けたこともありました。

多様な人がいて、そこで人と人が対等に関わり合い、小さな一つひとつのことを話し合いながら物事を作り上げていく。そんな営みがYWCAの原点かなあとあらためて思わされました。今回出された多くの意見から、まずは何か一つでも実行に移していくことができればいいなと思います。そして次の合同会議への展開が楽しみです。

(会員 谷川 いづみ)



未来へ——安心を創る

FUJITSU 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後町ビル1階
TEL06-4964-8700

100年の信頼と実績(明治10年創業)

【お客様へ快適なオフィス環境を】

- ・DX・働き方改革
- ・OA機器・インターネットセキュリティ
- ・経費削減

※ご相談はお電話か、QRコードから問い合わせください。



NOGI 株式会社 野木
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目22番7号
TEL. 06-6940-7675 / FAX. 06-6940-7695
https://nogi.co.jp/

聖書の言葉

彼の受けた懲らしめによって、私たちに平和が与えられ、彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

(旧約聖書)

イザヤ書53章5b)

日本語学科
卒業生

今こんなことをしています

～世界各地で活躍している卒業生を紹介しています～

2001年卒
ダニエック
ヤロスラフさん
(チェコ出身)

関西学院大学を卒業後、愛知県でトヨタグループの自動車部品メーカーに就職し、もうすぐ19年になります。現在は、欧米の子会社と本社を経営管理・事業企画の面で繋ぐ仕事に就いており、毎日充実しています。プライベートでは、妻、高校1年生の双子で息子(ジャスティン)、娘(シドニー)と楽しい日々を送っています。

☆梅田

古川ひなた

新入会員歓迎!!

[23/11/1～23/12/31]

沼野尚美さん講演会
「今を生きるコツ」
～よりよく生きるために～2024年3月16日(土)
14時～15時半
@大阪YWCA千里世界YWCA
総会報告

2023年11月27日～12月1日

この度第30回世界YWCA総会に代議員として参加させて頂きました。史上初のフルリモート開催で、総会2日目までは役員選挙や会則改正について、それ以降は次期の戦略計画や予算への質疑応答、各国ステートメントの採決と承認が行われました。各国Yが予算案に関して、より持続可能な財政体制のために具体的な答えが欲しいと世界Yに発言を求めていたことは特に印象的でした。また、先住民や障がいを持つ女性との協働

についても言及があり、社会のなかでより脆弱な立場にいる人々をどのようにフレームワークに組み込むのか、その視点について質問があったことも非常に興味深かったです。オンライン開催について賛否両論ありましたが、議論が熱く盛り上がりつつあるのが画面越しにも伝わり、民主主義、言論の自由の力とその素晴らしさを改めて感じました。

(職員 永嶋 里香)

大阪YWCA 文化祭

Welcome to Osaka YWCA

来て・見て・つながろう!

3/2
(土)

大阪YWCAの活動を展示やワークショップで紹介しています。ボランティアに関心のある方はもちろん、どなたでもご参加下さい。

14:10～16:00 @大阪YWCA本館

ご協力ありがとうございます

[23/11/1～23/12/31] 敬称略順不同

賛助費

笹部 真樹 原口早和子 八木みゆき

寄付

梅田 株式会社アドワン

むらさきつゆくさの会

一般財団法人中山文庫会館

その他

家本 陽一 井上 隆晶 熊田多美子

白川 啓子 辻 加代

大阪教区 心なごむ会

匿名1名

クリスマス献金

相澤 美子 秋山 佳子 阿部 晴水

池田 洋子 上田由美子 上野 康子

大岡真知子 大杉美耶子 川崎 仁子

栗本丹志貴 坂本 富子 笹部 真樹

笹部 昌子 沢田 陽子 鹿野 幸枝

東海林恭子 末吉佳世子 鈴木 豊子

砂子 礼 関根 久子 芹野 恵美

高橋 和子 瀧本 政子 辻 加代

都木 恵子 中山ゆかり 波田 則子

久本 浩美 藤井 保男 藤岡美智子

帆足 文子 前川 契子 松田 慶子

南 憲明 南 破魔子 宮澤 玲子

村松 通子 森垣 房子 森垣友二郎

山東 史子

日本基督教団北千里教会

日本基督教団豊中教会

日本基督教団南住吉教会

日本基督教団都島教会

匿名10名

会員維持費

荒木 慧子 鹿野 幸枝 田中 慶子

中村 友美

募金

16口 783、927円

11月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント 龍谷大学から2名のインターンシップ生(11/9～12/中旬)▼梅田会

員部 グループベジスー

の留学生へのランチスー

提供10/18・11/15▼千里

委員会 10/18ガレッジ

ール

【協議】①12/2クリスマ

スバザー当日詳細検討

②3/2定期会員集会の新

たな持ち方検討 ③208・

209教室のピアノの状態

について

12月運営委員会報告

【報告】▼指名委員会 次

年度運営委員、指名委員候

補者選定、交渉開始 ▼グ

ループパレット 11/19大

阪市下水道科学館「見学

▼女性エンパワメント部

関西学院大学YWCA 12

/8キャンパス内講演会開

催

【協議】①クリスマスバザ

ー振り返り ②定期会員集

会について ③理事、運営

委員、職員合同会議ふりか

えり ④パレスチナGAZ

A地区攻撃停止サイレント

アピールについて

お詫言と訂正

12月号4面「ご協力ありがとうございます」で期間の間違ひがありました。お詫言して訂正いたします。

(誤) 23/10/1～23/11/30
(正) 23/9/1～23/10/31